

校 訓	< 学校教育目標 >
自ら学び 互いにみがこう	自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成

特 別 支 援 教 育 の 目 標

- ・社会的自立をめざして、生徒一人ひとりのニーズ合わせ、逞しく生き抜く力の基礎となる、知識や技能を身につけさせる。

特 別 支 援 教 育 推 進 に 向 け た 努 力 目 標

- ・全員で進める特別支援教育：情報の共有と共通理解、共通実践
- ・個に応じた指導の徹底：個別支援計画と指導計画の策定と実施
- ・支援学級間の連携の強化：支援学級副担任の設置と支援学級部会の実施
- ・交流学級における交流の推進：普通学級の受け入れ体制と支援体制の整備
- ・生徒理解と校内研修による指導技術の向上：伝達講習と授業担当者会の実施

目 標		実 践 内 容	校内特別委員会等
普通学級	①豊かな心を持った温かい人間関係を構築する。 ②生徒の実態を把握し、個のニーズに合わせた指導や支援を実践する。	*すべての生徒が活動しやすい学級環境作りに努める。 *豊かな心、温かい人間関係を構築するための学級作りに努める。 *生徒の特性に応じた指導内容・方法を工夫する。 *対象の生徒と他の生徒が互いに理解し、協力できる雰囲気作りを行う。	○特別支援教育推進委員会 (校長・教頭・教務主任・保健主事・養護教諭・特支教コデ・特支学級担任) ○特別支援教育研究部：校内研究部会 (教頭・チーフ教員他)
特別支援学級	①学級経営目標の設定 ・自立・協力・目標設定等 ②学級経営の重点化 ・実態を踏まえた課題の明確化と学習の充実を図る。 ・体験や操作などをおして基礎的、基本的な学力の向上を図る。 ・会話の楽しさを味わわせ、会話力、コミュニケーション能力の向上を図る。	*実生活と結びついた内容を重視し、それらの指導をとおして、学力の定着を図る。 *興味関心を高めるような題材を多く取り入れ、繰り返し学習することができるよう指導法を工夫する。 (・課題の明確化・音読、漢字読み書き、作文、計算ドリル等・ゲームの要素や現場体験等) *体験活動を重視し、生活領域に必要とされる言語能力や数量的能力、運動能力を総合的に高めていく。 (・生活単元学習の工夫・発表など言語活動の充実・働く喜び、栽培や収穫の喜びを体験) *集団活動や共同学習をとおして協力する態度や気持ちを養う。	校 内 体 制 ①相談支援及び校内研修 (特支教コデ・研究主任) ②個に応じた指導及び支援 (担任・特支教コデ) ③就学指導 (特別支援教育推進委員会) ④交流及び共同学習 (学級担任・普通学級担任)
交流学習	①普通学級相互理解と他者への思いやりを持ち、学び合い・支え合いのできる人間関係の構築をめざす。 ②特別支援学級生活経験の深化と社会性や好ましい人間関係の構築を目指す。	*休み時間、給食等の日常生活登下校や昼休み、給食の時間など日常生活の中での交流を行う。 *学校行事や生徒会行事全校生徒と活動する中で相互理解を深め、充実感や達成感を味わわせる。 *学級活動、委員会活動所属感を持たせ、仲間とともに活動する喜びを味わわせる。 *他校との交流	家庭・特別支援学校・関係諸機関・地域社会との連携 ・PTA・佐世保特別支援学校・川棚特別支援学校・市支援センター・連合町内会・青少年健全育成会等